

◆直接法(左)と間接法(右) (単位省略)

【例題】

以下の資料に基づき、【解答欄】にある()に語句と数値を記入しなさい。なお、必要な場合は、▲の符号も付すこと。

【資料】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	22,000		22,000

【解答欄】

キャッシュ・フロー計算書(直接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() ()
 () ()
 小計 ()

キャッシュ・フロー計算書(間接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() ()
 () ()
 () ()
 () ()
 売上債権の() ()
 棚卸資産の() ()
 仕入債務の() ()
 小計 ()

◆直接法(左)と間接法(右) (単位省略)

【解答へのアプローチ】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			
	(+)	(-)		(-)	(+)

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			
	(+)	(-)		(-)	(+)

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	(-)		(+)

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	22,000		22,000

※ 直接法のP/L元データ：売上高 20,000 - 売上原価 15,000 = 間接法のP/L表示データ：当期純利益 4,000 + 減価償却費 2,000 - 受取利息 2,000 + 支払利息 1,000
次に、両者共にB/Sデータ：外側金額 - 内側金額。∴ 直接法：小計 9,000 = 間接法：小計 9,000

【解答】

キャッシュ・フロー計算書(直接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(営業収入) (23,000)

(商品の仕入れによる支出) (▲14,000)

小計 (9,000)

※ 23,000 = 5,000 - 2,000 + 20,000

※ 14,000 = 1,000 - 2,000 + 4,000 - 2,000 - 15,000

キャッシュ・フロー計算書(間接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(税引前当期純利益) (4,000)

(減価償却費) (2,000)

(受取利息) (▲2,000)

(支払利息) (1,000)

売上債権の(減少額) (3,000) (= 5,000 - 2,000)

棚卸資産の(増加額) (▲1,000) (= 1,000 - 2,000)

仕入債務の(増加額) (2,000) (= 4,000 - 2,000)

小計 (9,000)

◆参考：勘定記入と営業収入・仕入支出

【資料】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	22,000		22,000

【勘定記入と営業収入・仕入支出】

売上債権

前期末	5,000	当期末	2,000
売上高	20,000	現金預金	23,000
		(営業収入)	

棚卸資産(商品)

前期末	1,000	当期末	2,000
仕入債務	16,000	売上原価	15,000

仕入債務

当期末	4,000	前期末	2,000
現金預金	14,000	棚卸資産(商品)	16,000
(仕入支出)			

◆直接法(左)と間接法(右) (単位省略) / 色分けなし

【解答へのアプローチ】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			
	(+)	(-)		(-)	(+)

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			
	(+)	(-)		(-)	(+)

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	(-)		(+)

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	22,000		22,000

※ 直接法のP/L元データ：売上高 20,000 - 売上原価 15,000 = 間接法のP/L表示データ：当期純利益 4,000 + 減価償却費 2,000 - 受取利息 2,000 + 支払利息 1,000
次に、両者共にB/Sデータ：外側金額 - 内側金額。∴ 直接法：小計 9,000 = 間接法：小計 9,000

【解答】

キャッシュ・フロー計算書(直接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(営業収入) (23,000)

(商品の仕入れによる支出) (▲14,000)

小計 (9,000)

※ 23,000 = 5,000 - 2,000 + 20,000

※ 14,000 = 1,000 - 2,000 + 4,000 - 2,000 - 15,000

キャッシュ・フロー計算書(間接法)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(税引前当期純利益) (4,000)

(減価償却費) (2,000)

(受取利息) (▲2,000)

(支払利息) (1,000)

売上債権の(減少額) (3,000) (= 5,000 - 2,000)

棚卸資産の(増加額) (▲1,000) (= 1,000 - 2,000)

仕入債務の(増加額) (2,000) (= 4,000 - 2,000)

小計 (9,000)

◆参考：勘定記入と営業収入・仕入支出／色分けなし

【資料】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	5,000	2,000	仕入債務	2,000	4,000
棚卸資産(商品)	1,000	2,000			

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	15,000	売上高	20,000
減価償却費	2,000	受取利息	2,000
支払利息	1,000		
当期純利益	4,000		
	22,000		22,000

【勘定記入と営業収入・仕入支出】

売上債権

前期末	5,000	当期末	2,000
売上高	20,000	現金預金	23,000
		(営業収入)	

棚卸資産(商品)

前期末	1,000	当期末	2,000
仕入債務	16,000	売上原価	15,000

仕入債務

当期末	4,000	前期末	2,000
現金預金	14,000	棚卸資産(商品)	16,000
(仕入支出)			